

黒毛和種県産種雄牛「飛良智(ひらとも)」の作出

【1 成果の概要】

- 黒毛和種県産種雄牛として「飛良智」を選抜し、凍結精液を県内に供給しています。
- 「飛良智」は枝肉重量とロース芯面積について過去最高の現場後代検定成績を示しています。
- 推定育種価は、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ及び脂肪交雑で上位 1/10 以上のランク (H評価) です。

【2 効果】

- (1) A5率が63.2%と高いことから、肥育経営の収益向上に貢献します(表1)。
- (2) 飛良智の交配により、後代の遺伝的能力の向上(「飛良智」の推定育種価の1/2)が期待できます(表2)。



図1 飛良智

表1 「飛良智」の現場後代検定成績

項目	平均 ± 標準偏差	本県最高値※1
調査牛頭数 (頭)	19	-
枝肉重量 (kg)	513.5 ± 46.9	513.5 (飛良智)
ロース芯面積 (cm ²)	65.7 ± 7.4	65.7 (飛良智)
バラの厚さ (cm)	8.6 ± 0.9	9.3 (春北平)
歩留基準値	74.6 ± 1.2	75.4 (秀福安)
脂肪交雑 (BMSNo.)	7.8 ± 1.7	8.3 (安久勝晃)
A5率 (%)	63.2 (12/19頭)	68.4 (安久勝晃)

※1 () 内は本県最高値を記録した種雄牛の名号

表2 「飛良智」の推定育種価

項目	育種価 (正確度)	ランク
枝肉重量	121.549 (0.911)	H
ロース芯面積	19.230 (0.901)	H
バラの厚さ	1.870 (0.882)	H
皮下脂肪の厚さ	-0.245 (0.913)	C
歩留基準値	2.604 (0.913)	A
脂肪交雑基準値	3.122 (0.927)	H

※R2.9評価、後代数21

【3 留意事項】

- (1) 飛良智を県内すべての繁殖雌牛に交配した場合、産子の近交係数が10%を超える割合は12.1%です(図2)。近親交配を避けるため、普及センター等で「岩手県黒毛和種交配支援システム」を用いて、近交係数を確認のうえ交配してください。
- (2) 公益社団法人全国和牛登録協会が規定する遺伝的不良形質(10形質)は保因していません。

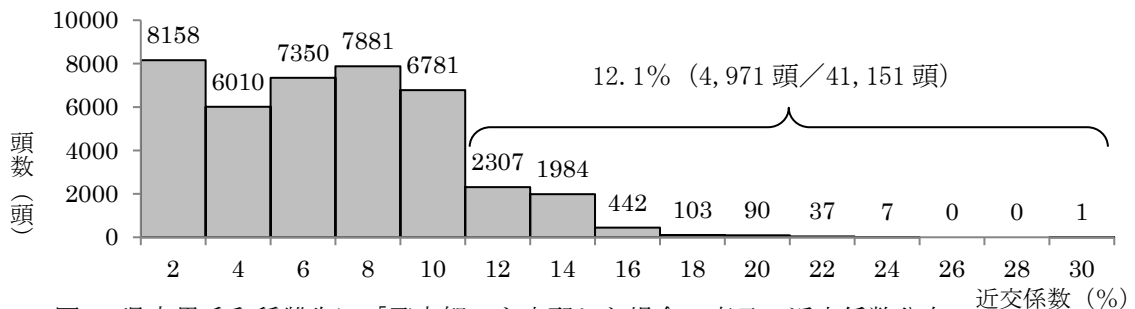


図2 県内黒毛和種雌牛に「飛良智」を交配した場合の産子の近交係数分布

【4 適応対象】

- (1) 地帯 県下全域
- (2) 対象者

繁殖牛群の肉質の遺伝的能力の維持・向上を図りながら発育成績の改善を目指す繁殖農家。